

高層建築の基礎は、本当に場所打ち杭一択ですか？

基礎設計に、 新しい選択肢を。

回転貫入鋼管ぐい TGパイル工法



杭工法の分類

場所打ち杭工法	オールケーシング工法	
	アースドリル工法	
	リバース工法	
	深礎工法	
既製杭工法	打ち込み杭工法	打撃工法
		振動工法
		打込み式圧入工法
	埋め込み杭工法 (直設埋め込み)	◎回転設杭工法
		埋込み式圧入杭工法
	埋め込み杭工法 (先行掘りあり)	プレローディング工法
		中掘り杭工法
		ジェット工法
	鋼管ソイルセメント工法	



鋼管杭は

4階(低層階)までという誤解?!

実際には、鋼管杭自体に階数の制限はなく、設計・施工条件を適切に満たせば 10~12 階建ての中高層建築にも十分対応可能です。

高層ビルや大規模なインフラ工事でも、高強度・大口径の鋼管杭が使われる事例は数多く存在しています。

鋼管杭には

多くのメリットがあります!

狭小地での施工性

施工機械がコンパクト、プラント設備が不要なため、作業スペースを最小限に抑えられ、搬入路が狭い場所、敷地が限られた狭小地での高層階に対応可能です。



短工期・高品質

鋼管杭は工場で製造されるため、品質が安定し、現場では短期間で施工可能。さまざまな現場に対応できる基本性能を備えています。



コストに優れる

残土が少なく処理・運搬コストを抑えられる経済的な杭工法です。撤去時も再利用可能で、無駄なく効率的に施工できます。



環境に優しい

施工時には、セメント系固化剤を使用しないため、土壌や地下水汚染がありません。撤去の際にも、逆回転で容易に抜くことができるため、地中に残置物が残りません。



TGパイルは、 あなたの常識を変える。

タイガー産業は20年にわたり
鋼管杭の開発に力を注いできました



鋼管杭の中でもTGパイルのメリット

メリット
01 **TGジョイント**

TGジョイントを使用することでより細いサイズの軸本体（鋼管）を選択可能になり、コストダウンに貢献します。

メリット
02 **進化する鋼管杭**

優れた掘削刃で貫入性を高め、さらにスピーディーな施工を実現。施工効率の向上で全体コストを抑えられます。

メリット
03 **高い支持力**

独自の拡底翼により、杭本数を減らしても建物をしっかり支える高い支持力を発揮。

メリット
04 **安心と信頼**

過酷な条件下での施工実績が豊富で、大規模プロジェクトでも安定した性能を提供。

認定

意匠登録第1532791号

NETIS登録番号

KT-230244-A

技術名称

先端翼付き回転貫入鋼管杭工法
「TGパイル工法」

技術概要

先端翼付き回転貫入鋼管杭工法である。従来は、PHC杭工法で行っていた。本技術の活用により、無排土で施工可能となり、残土処理が無くなるため、経済性の向上、工程の短縮、施工性の向上が図れる



国土交通大臣認定
認定番号 TACP-0670
先端地盤：砂質地盤
(礫質地盤を含む)



国土交通大臣認定
認定番号 TACP-0671
先端地盤：粘土質地盤



CBRC性能証明
第15-26号改1
引抜き方向性能証明

実績

10,000件以上の実績あり

※物件実績イメージ



タイガー産業株式会社

本社 パイル事業部

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12-11
TEL 098-982-1915 FAX 098-982-1916

パイル関東営業所

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬2490-5
TEL 04-7157-0833 FAX 04-7157-0834

パイル九州ヤード

〒830-1226 福岡県三井郡大刀洗町山隈17-6
TEL 0942-65-4508 FAX 0942-65-4520

